

教育的ニーズ

●市町村の学び場の観点編



福島県教育庁
特別支援教育課

対象となる子どもたちの教育的ニーズを整理する際、
最も大切にしなければならないこと

子どもたちの自立と社会参加を見据え、
その時点でその子どもたちに最も必要な教育を
提供すること

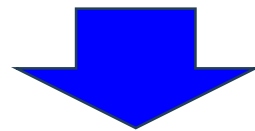
教育的ニーズを整理するための 三つの観点

障がいの
状態等

特別な
指導内容

教育上の合理的
配慮を含む必要
な支援の内容

教育的ニーズを整理することで、必要な支援内容が見えてくる



踏まえて

どの学びの場の形態が最も適切かどうかを
検討していくことが大切

各市町村の教育支援委員会における
就学先決定、学びの場の検討をする際の留意点①

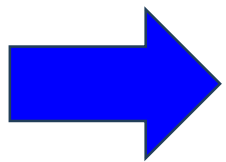
例)

障がいの
状態等

情報収集

特別な
指導内容

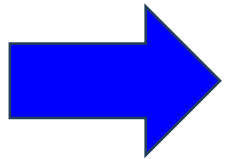
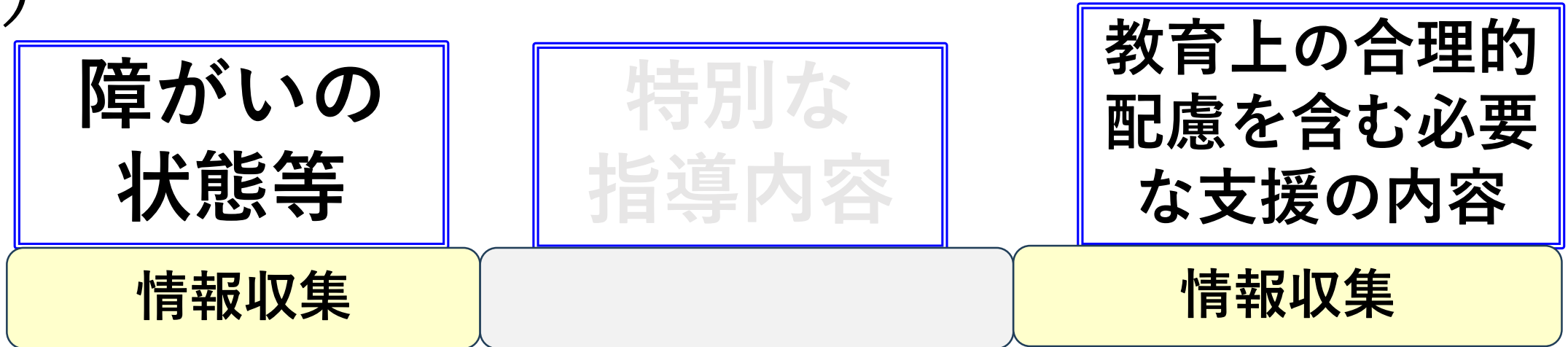
教育上の合理的
配慮を含む必要
な支援の内容



障がいの状態のみの情報では、今の学びの場で提供可能な支援があれば、共に学ぶことができることなどを検討することができるのに、障がいの状態のみで学びの場が分けられてしまう可能性がある。

各市町村の教育支援委員会における 就学先決定、学びの場の検討をする際の留意点②

例)



本人にどのような指導が必要か、どれくらい必要かを考えないで、学びの場を考えると、本当は週1回～2回程度の自立活動の指導の指導内容であれば、通級による指導も検討できることを考慮せずに、学びの場が分けられてしまう可能性がある。

教育的ニーズ

令和3年6月「障害のある子供の教育支援の手引」から

各市町村の教育支援委員会における
就学先決定、学びの場の検討をする際の留意点③

調査の視点

障がいの
状態等

特別な
指導内容

教育上の合理的
配慮を含む必要
な支援の内容

教育的ニーズを整理することで、必要な支援内容が見えてくる

踏まえることで、明確な説明にもつながる

通常の学級

通級による指導

特別支援学級

特別支援学校

市町村における基礎的環境整備の状況、合理的配慮を含む必要な支援の内容に関する状況を把握し、必要な特別な教育課程を考慮し、学びの場を検討していく

各市町村の教育支援委員会における 就学先決定、学びの場の検討をする際の留意点④

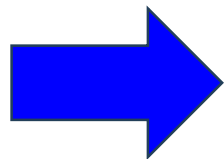
通常の学級

通級による指導

特別支援学級

特別支援学校

市町村における基礎的環境整備の状況、合理的配慮を含む必要な支援の内容に関する状況を把握し、必要な特別な教育課程を考慮し、学びの場を検討していく



それぞれの学びの場の理解（特別な教育課程に関する理解、それぞれの学びの場の基礎的環境整備や合理的配慮等の提供状況など）が大切になる。